

健康家族 チームワークを重視

中部のエンゲージメント戦略

事務機器の販売や保守管理を手掛ける四日市事務機センター（本社 四日市市）は、①従業員の健康②従業員の家族③チームワークの三つを重視した経営に力を入れている。これらに資する福利厚生制度は、実に100種以上を数える。従業員満足度を高めることで、顧客へのサービス向上と満足度アップにつなげており、結果的に自社の業績拡大に寄与している。

（四日市市・梶田宏行）



四日市事務機センター 100種超の福利厚生制度

同社は、顧客に対し最高のサービスを提供するには、良好な社内チームワーク環境を構築することが重要である、との考えの下、チーム／家族の満足度（Team family satisfaction）を高めるのが狙いの「TFS向上推進宣言」を打ち出している。思いやりや助け合い、感謝の精神を従業員一人一人に根付かせることで、社内の協力的体制

セミナーなどで情報発信に努めている（写真は佐野社長）

満足度向上が業績拡大に寄与

をより強固にし、顧客満足度と会社業績を高めている。TFS向上推進と並行して、自社がサービス提供しているICT（情報通信技術）技術などを活用した業務効率化などの職場環境改善を精力的に推し進めることで、同社の売上高は過去15年余りで4倍へ拡大し、離職率は大幅に低下した。

なかでも他社を圧倒する福利厚生制度の種類は126に上る。家族向け支援では、従業員の子どもへの塾費の一部負担や小学校入学時のランドセル贈呈、中学入学時に制服を贈るといった制度があり、子育て世代の支援が手厚い。独身者向け

「一生んでくれてありがとう制度」は、従業員の父母の日のいずれかに、一定金額の食事代を支給するものがある。

健康支援では禁煙手当をはじめ、健康診断の結果が改善すると報奨金を支給する制度や、35歳以上の従業員の人間ドック受診費用を全額負担する制度などがある。

チーム支援では、社員同士が日常業務の感謝の気持ちを仮想通貨とともに伝え合い、給与に反映させるユニークな制度を運用。売上げなどの数字には表れない「見えない努力」を称えたい、社員の働くモチベーションアップにつなげようというものだ。



企業・団体などが参考にしようと、社内見学の受け入れも精力的に行う

TFS向上推進に関する取り組みを社内外へ積極的に発信している。自社のオフィス内を見学できるようにしているほか、関連するセミナーなどへ佐野智成社長らが登壇している。社外からの評価も高く、さまざまな賞を受賞。今年度は三重のサステナブル経営アワードを受賞した。佐野智成社長は「少しでも他の中小企業の参考にしたいだければ」と話している。

（火曜日に掲載）

